

平成31年度
事業計画書

公益財団法人 湘南公良豊

平成31年度 事業計画書

1. 概要

本年度の最大の事業計画は、長年の計画であった第二霊園の開園を今年度4月にオープンすることです。第二霊園の規模は5,000墓を予定しています。第一霊園と合わせますと13,000墓の大規模霊園になります。従来にまして公益法人として健全で安定した法人運営と国民から期待されるガバナンス(統治)を目標に、積極的に情報開示を行い墓地利用者及び墓地利用希望者から信頼される墓地経営を行ないます。特に本年度は、第一霊園の永代供養墓(合祀墓・合同墓地)の広報を積極的に行い、墓地を求める人々の墓地選択肢を広げて多くの不特定多数の方々への利益増進に貢献いたします。

特に、最近では墓地の将来についての不安をあげる方が多く、単身高齢者や子供いない世帯といった承継者がいない方が安心して利用できる合同墓地や、生活に困窮し、墓地の取得が困難で遺骨を保管している方が利用できる合祀墓の運営を誠実にまいります。

一方、第一霊園の霊園環境の改善を図る目的で、緑地地帯や参道の整備を重点的に行い、ご年配の方々安心してお墓参りができる安全な環境整備を行います。

また、第二霊園のオープンに合わせて、霊園PRは、需要の高い区画の募集を重点的に行い、多くの墓地利用者から寄せられる墓地・法要・供養に関する相談を迅速懇切丁寧に行うために職員教育を実施して、霊園利用者の皆さんに喜んで頂ける霊園運営を目指してまいります。

さらに、国民の墓地需要に応える低廉で良質な墓地の開発・供給と霊園経営に関する情報収集を行い、霊園経営事業のより一層の推進を図ります。

なお、事業の詳細は次の通りです。

2. 事業内容

(1) 墓地に関する相談及び情報の提供事業

① 改葬及び法事・供養に関する相談

相談受付は、午前9時から午後4時の間、管理事務所又は電話で対応します。また、夏時間はお墓参りに来られる方々の要望に応じて午前8時30分から午後6時を開園時間とします

② ホームページでの情報提供

第一霊園と第二霊園の新区画開放と永代供養墓の情報をホームページ上に掲載して、墓地需要者に当霊園の墓地情報を少しでも多く知る機会を増や

してまいります。また、当法人の経営内容の情報開示を行い、信頼される公益法人に努めます。

③ 東京営業所

圏央道の多摩地区周辺の地域へ霊園情報チラシを、計画的に配布し、霊園と永代供養墓利用者の獲得に対処します。

(2) 無縁仏の受入事業

前年度建立した永代供養墓(合祀墓)は、日本国内の身元不明者や身寄りのない方の無縁仏埋葬と慰霊を行うため、各市町村との調整を図り公益法人の責務を果たします。

(3) 墓地の造成事業

① 第一霊園の参道をインターロッキングで整備した芝墓地の、空き区画の完売に努めます。参道整備情報は、ホームページや新聞折り込みチラシ等で情報提供を行い宗教・宗派・宗旨を問わず広く一般の方々が、安心して申し込み出来るように致します。

② 第二霊園は、最近の墓地に対する時代の変化や家族構成の変化による墓地ニーズに対応する内容の墓所の造成を行います。また、緑あふれた植栽を行い四季の変化が感じられる霊園の環境整備を行います。来園される方々に心地よい安全で楽しめる公園墓地を提供致します。

③ 第二霊園の第一期販売区画については、

[墓地面積] 23,618.27 m² (7,092.57 坪)

[墓域面積] 5,796.77 m² (5,000 墓)

[墓域区画数] 0.6 m² 1,797 区画

1.0 m² 1,507 区画

1.44 m² 701 区画

2.0 m² 895 区画

4.0 m² 100 区画

総区画数 5,000 区画

第1期販売区画

0.6 m² 385 区画

1.0 m² 266 区画

1.44 m² 180 区画

2.0 m² 132 区画

販売区画数 963 区画

④ 墓所造成事業の霊園整備協力金

墓所造成に関わる石材店からの墓所整備協力金は、今年度は第二霊園の区画割りを400区画の7,300,000円を予定します。

(4) 墓地の管理事業

① 墓地の供給事業

最近の墓地需要の傾向を踏まえて、低廉で良質な墓地の新区画の開発を行い、広く国民の墓地需要に応えます。今年度の永代使用料収入は、第一霊園は、150区画91,750,000円、第二霊園は400区画218,600,000円で合計550区画310,350,000円を予定します。

永代供養墓は合祀墓30霊4,500,000円、合同墓地50霊15,000,000円を予定し、永代供養料は19,500,000円を予定します。

墓地の新区画の告知は、ホームページ及び新聞折り込みチラシ等で広く墓地需要者の方々にお知らせをしております。

② 墓地管理料徴収事務

今年度は約7,300区画の66,500,000円を予定します。一方、管理料未納者への督促を迅速に行い、より一層の未納者の減少に努めます。

③ 墓地の無縁化防止対策

墓地の無縁化は、管理料の未納などにより発生しますので、墓地の運営に影響を及ぼすこととなりますので、早期に永代合祀墓に改葬をご案内にする等を行い無縁化防止対策を行います。

④ AEDの活用

来園される方々に安心と安全を提供するために、第一・第二にAEDを設置すると同時に職員及び関係者に器具の使用法の講習会を実施して、来園される方々が安心感を得られるように致します。

(5) 墓地附帯施設の賃貸及び墓地に関する情報提供事業

① 墓地に関する情報提供事業

石材店に対して墓地に関する情報提供事業を行い、墓石販売手数料として1件当たり25,000円年間450件11,250,000円の事業収益を予定します。

② 事務所の賃貸事業

石材店5社に事務所を賃貸し、第一霊園・第二霊園合わせて、年間11,266,

000 円の事業収益を予定します。

③ 礼拝堂施設等の貸与事業

法事を行う不特定多数の方々の需要に応じて、園内の礼拝堂・会食室の貸与を行います。平成 31 年度の礼拝堂利用は、600 件で 6,930,000 円と会食室の利用は 250 件で、2,720,000 円の合計 9,650,000 円の事業収益を予定します。

④ 埋蔵・催事事務

遺骨を埋蔵する際に必要な焼香台等の貸与として、平成 31 年度は 500 件で 2,700,000 円を予定します。また、これらの埋蔵及び法事の事務経費として、平成 31 年度は 2,300,000 円を予定します。

埋蔵・催事事務の収益合計は、5,000,000 円を予定します。

⑤ 法事、塔婆等の紹介事業

法事を行う利用者の要望に応じて、僧侶や神官等の紹介を行い、また塔婆の申込受付を行います。年間約 440 件、2,200,000 円の事業収益を予定します。

3. 中・長期事業計画及び収支予算書の見直し

平成 30 年度に策定した中・長期事業計画の見直しを行い、10 年後の当霊園の「将来が展望できる経営指針」の情報を役職員全員が常に認識して、来園される多くのお客様に信頼される健全な財務内容と墓地の環境整備を常に行い霊園利用者が誇れる四季おりおりの植栽豊かな公園墓地を目指してまいります。

以上